●コース内容　3つのコースから選べます。

ABC

A 館内見学ツアー（約90分）
施設の全館案内ツアーを実施します。

B 館内見学＋取材体験（約90分）
館内見学に加え、取材体験プログラムを実施します。

C 館内見学＋取材体験＋新聞づくり（約120分）
上記Bに加え、新聞づくりを実施するプログラムです。

※来館の時間帯・参加人数により見学の順番、内容が異なる場合があります

●定員

Aコースは160人まで、
BコースとCコースは80人までを目安としています。
定員を超える場合は、お申し込みの際にお問い合わせください。

※小グループの場合は他の団体の方と一緒にご案内をすることがあります

●申込方法

完全予約制です（見学の7日前までに、お電話で）。
※日程・人数などによりご希望に沿えない場合もございます

ご予約・お問い合わせ電話番号
086-483-2808（さん太しんぶん館）
受付時間：平日10:00～16:00　土日曜祝日、年末年始を除く

お申し込みの際には、個人・団体にかかわらず
下記の情報を必ずお知らせください。

1 ご希望の日時と人数
2 お名前（団体の場合は団体名と代表者の方のお名前）
3 代表者のご連絡先（住所、郵便番号、電話番号）

詳細はウェブサイトをご確認ください。
http://c.sanyonews.jp/shimbunkan.html

さん太しんぶん館

ご案内

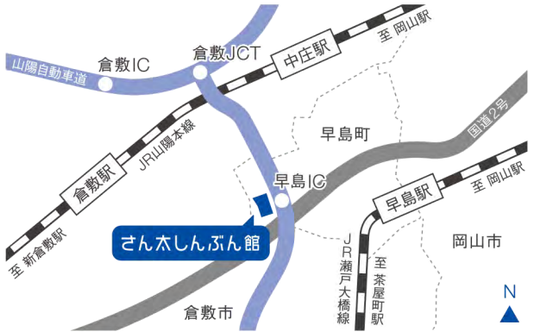
●開館時間　月～金曜日
（土日曜祝日、年末年始を除く）
午前の部　10:00～
午後の部　13:00～
※上記時間以外の利用については、
お申し込みの際にご相談ください

●入場料　無料

FREE

●アクセス

JR瀬戸大橋線早島駅から車で約15分。
JR山陽本線中庄駅から車で約15分。
山陽自動車道「早島IC」から車で約3分。駐車場あり。



さん太しんぶん館
〒701-0304 岡山県早島町早島2671番地1
TEL.（086）483-2808　FAX.（086）483-2817
MAIL. shimbunkan@sanyonews.jp

山陽新聞のご購読は 0120-34-4301（通話料無料）

山陽新聞社

学習・見学施設

さん太しんぶん館

http://c.sanyonews.jp/shimbunkan.html

記者になって新聞づくりにチャレンジ
新聞がテーマの学習・見学施設

山陽新聞社の新印刷工場「さん太しんぶん館」内に学習・見学施設ができました！もっと新聞に親しんでもらいたくて、NIE・NIB教育の拠点として整備しました。

スクリーンの中のさん太・よう太が新聞の基本を案内するシアターをはじめ、新聞の製作工程を紹介したコーナーや、新聞が印刷される様を間近で見られる体感デッキなど、新聞の役割や魅力、歴史を楽しく学べます。

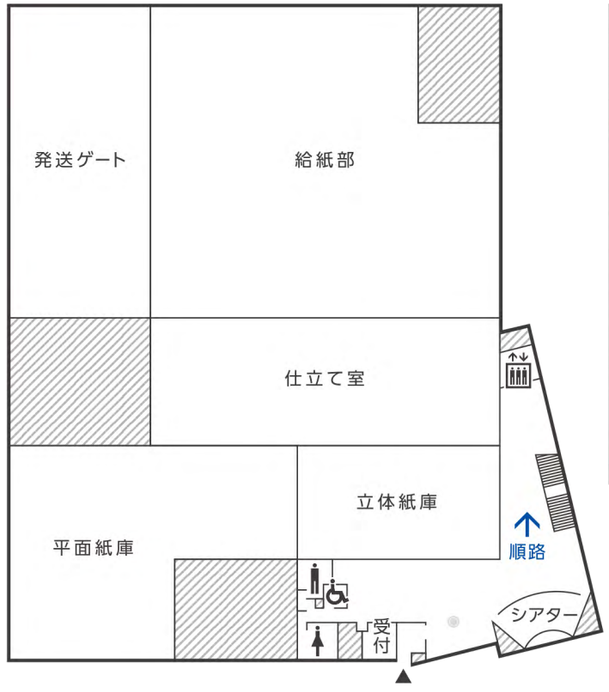
また、記者になって取材をし、新聞づくりにチャレンジできる体験プログラムもあり、「新聞の世界」をまるごと楽しめます。新聞をもっと身近に、ニュースの魅力を再発見。さあ、「さん太しんぶん館」へ！

※さん太・よう太＝山陽新聞社のキャラクター
※NIE＝「教育に新聞を」、NIB＝「ビジネスに新聞を」

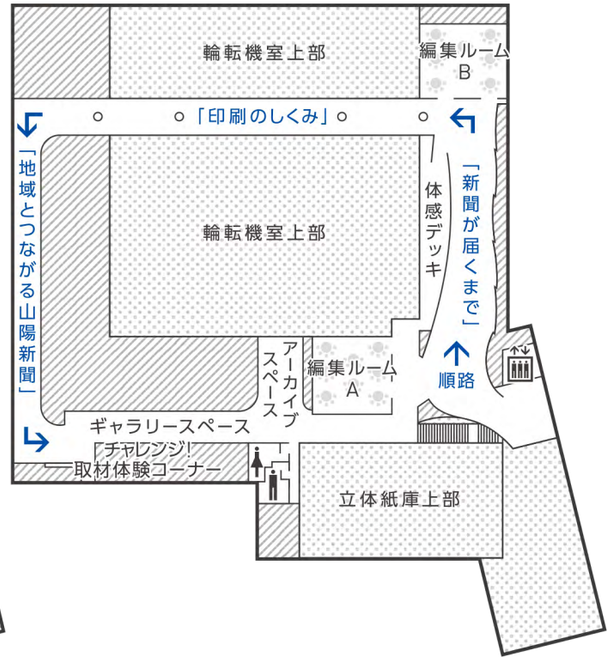
館内マップ

さん太しんぶん館は、地上3階建ての巨大な建物。
館内にはタワーのような輪転機が3セット設置されているんだ。
展示スペースは1Fエントランスホールと3F展示コーナー。
新聞の魅力いっぱい、見どころ満載だよ!

1F



3F



●館内は禁煙です。 ●展示スペースは飲食禁止です。館内で食事を取る場合は、別途ご相談ください。 ●車いす利用などの際には事前にお知らせいただき、介助の方の同行をお願いします。 ●写真撮影は撮影可能エリアのみ。ただし、その場合もフラッシュ・ストロボ撮影は厳禁です。 ●撮影は個人使用目的の場合に限ります。商業目的やインターネット、印刷物などへの写真掲載は不可とします。

立体紙庫 1F

7000部、222本…新聞印刷を読み解く数字がいっぱいのガラスの向こうは、巻き取り紙がぎっしり。

シアター 1F

スタッフの女性とスクリーン中のさん太とよう太が楽しく会話しながら新聞の世界へ案内してくれるよ。

展示エリア 3F
新聞が届くまで

新聞は毎日どうやってつくられているのかな? 取材・執筆から紙面編集、印刷、家庭に配られるまでをご紹介。

展示エリア 3F
地域とつながる山陽新聞

創刊以降の紙面を彩った世界や日本、岡山のニュースをイラストで表した巨大壁画年表。長さ28mもあるよ。

チャレンジ! 取材体験コーナー 3F

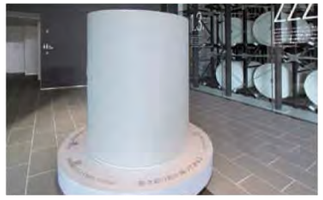
岡山ゆかりの6つのニュースを取材しよう! 取材コインを手に入れたらガチャを回して記事のネタをゲット!

ギャラリースペース 3F

新聞コンクールの優秀作品の展示など、新聞に関するさまざまな企画展を展開するスペースです。

仕立て室 1F

大きな巻き取り紙を運んでいるのはAGV(無人搬送車)。コンピューター制御の運搬用ロボットなんだよ。



巻き取り紙に触ってみよう 1F

トイレットペーパーのお化け!? とんでもない、印刷される前の新聞紙「巻き取り紙」だよ。触ってみてね。

展示エリア 3F
印刷のしくみ

輪転機室を貫く両壁面全面ガラス張りの通路「輪転機ブリッジ」。ここでは新聞印刷の基本を学べるよ。

体感デッキ 3F

インクのにおいとともに、新聞を高速印刷する輪転機を間近に見ることができるよ。すごい速さだね。

編集ルーム 3F

新聞づくりなどを行う編集ルーム。みんなでつくった新聞を映し出して、お互いに見比べたりもできるんだよ。

アーカイブスペース 3F

山陽新聞創刊以来約140年間の紙面をパソコンで見てみよう。山陽新聞の全地域版も手にとって閲覧できるよ。